

高年级

主编  
何琳

综合日语

综合日语

上册  
练习册



北京大学出版社  
PEKING UNIVERSITY PRESS

21世纪日语系列教材

# 高年级综合日语 (上册)

练习册

主 编 何 琳

编 者 丁 莉 刘 健

孙佳音 王轶群

审 订 彭广陆 [日] 铃木典夫



北京大学出版社  
PEKING UNIVERSITY PRESS

## 图书在版编目(CIP)数据

高年级综合日语(上册)练习册/何琳主编. —北京: 北京大学出版社, 2015.1  
(21世纪日语系列教材)

ISBN 978-7-301-25406-6

I. ①高… II. ①何… III. ①日语-高等学校-习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2015)第018067号

书 名 高年级综合日语(上册)练习册  
著作责任者 何琳主编  
责任编辑 兰婷  
标准书号 ISBN 978-7-301-25406-6  
出版发行 北京大学出版社  
地 址 北京市海淀区成府路205号 100871  
网 址 <http://www.pup.cn> 新浪微博: @北京大学出版社  
电子信箱 [lanting371@163.com](mailto:lanting371@163.com)  
电 话 邮购部62752015 发行部62750672 编辑部62754962  
印 刷 者 三河市博文印刷有限公司  
经 销 者 新华书店  
787毫米×1092毫米 16开本 7.5印张 180千字  
2015年1月第1版 2015年1月第1次印刷  
定 价 25.00元

---

未经许可, 不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

**版权所有, 侵权必究**

举报电话: 010-62752024 电子信箱: [fd@pup.pku.edu.cn](mailto:fd@pup.pku.edu.cn)

图书如有印装质量问题, 请与出版部联系, 电话: 010-62756370

# 《高年级综合日语（上册）练习册》

## 编 者

### 审 定

彭广陆（北京大学教授）

铃木典夫（首都师范大学日语专家）

### 执笔者

丁 莉（北京大学副教授）

何 琳（首都师范大学副教授）

刘 健（首都师范大学讲师）

孙佳音（北京语言大学副教授）

王轶群（中国人民大学副教授）

# 前 言

《高年级综合日语》是与《综合日语》（修订版，第1-4册，北京大学出版社）衔接的日语专业主干教材，供国内高等院校日语专业高年级（三、四年级）精读课使用，全套教材分为上、下两册。

《高年级综合日语》注重提高学生的语言运用能力，同时注重培养学生的综合人文素养，注重与文学、社会、文化等人文学科知识体系的对接，注重培养学生的思考、表达以及批判、反思的能力。教材所选文章题材丰富，帮助学生获取观察、解读日本及世界的视点与方法。

本练习册与《高年级综合日语（上册）》配套，供学生自我检测使用，主要帮助学生归纳、整理语言基础知识，检验语言知识掌握的情况。练习内容涵盖所有语法、词汇的学习重点、难点，同时针对高年级的学习特点和需要，每课有针对性地设计了翻译练习，帮助学生体会日汉翻译的特点，掌握日汉翻译的基本技巧，并进行有效的实际练习。为了帮助学生丰富语言表达，补充了四字熟语、谚语、惯用句，以及日语能力考试1级的主要形容词、副词等。此外，我们从“NIPPON.COM”网站上精选了一些介绍日本现代社会、文化的文章，帮助学生拓展思路、开阔眼界、提高阅读水平。

希望本书能够成为《高年级综合日语》的延伸和补充，为日语学习提供有效的帮助。最后衷心地感谢笹川和平财团笹川日中友好基金会的大力支持。感谢NIPPON.COM提供高水准的阅读文章。感谢为本教材的编辑出版付出辛勤劳动的北京大学出版社编辑兰婷女士和为本教材联系版权事宜的北京大学出版社李昊先生。

《高年级综合日语练习册》编辑委员会

2014年8月28日

# 目 次

第1課	ニホン語に出会う	1
第2課	日本語の「ぼかし」表現	9
第3課	自然がぼくにマンガを描かせた	22
第4課	神様2011	30
第5課	刺身の風景	43
第6課	サザエさんをさがして	51
第7課	雅の美学	62
第8課	かわいい論	71
第9課	カルチャーショック	84
第10課	越えてきた者の記録	98
	参考书目	113

# 第1課 ニホン語に出会う

## 単語リスト

アナウンサー キス ユーモア イッチ  
類 頬 視線 欠陥 通常 暗黙 主語 述語 文章語 口語体 体操 異種  
数回 下駄箱 革靴 半靴 運動靴 全教科 転校生 生徒 均質性  
糾弾集会 逆効果 過ち 上履き まなざし ときおり 怒り 大笑い スケベ  
話しことば 書きことば 友達づきあい 悪口 思いやり 言い切り 生き死に  
ふれこみ 先制パンチ 徹底 転校 一致 完結 認知 告白 握手 拒絶  
放置 聴察 摘発 封印 内面化 罵倒 自明化 抱腹絶倒 ものおじ  
注意深い いやらしい 寛容 不幸 悲惨 濃密 均一 異常 下品 異様  
事後的 性的 およそ とりあえず ことさら とりわけ あまつさえ まるごと ジロジロ  
クスクス 一心 おかしな  
向かう まごう 飛び交う 抱きつく 犯す 交わす ゆるがす 思い知らず  
おし殺す 迷い込む 操る つまる 訴える 重なる 愚痴る まとまる しゃべる  
とがめる ゆだねる 立ち上がる 射すくめる 履きかえる 投げかける 浮き上がる  
口をつく 耳を傾ける

## 文法リスト

1. ～にもかかわらず<转折>
2. ～ごとくに<间隔; 频率>
3. ～しかない<唯一手段>
4. ～うえで／～うえの<动作的前提>
5. ～ばかりで(は)なく<递进>
6. ～(さ)せる<非自主性使动句>
7. 能动态形式表达的自发含义

## 1. 次の下線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) 会議で突然発言を求めた私に、みなの視線が集まった。
- (2) 私たちは、徹底した品質管理を実践しています。
- (3) 100円均一の店、つまり100円ショップを回るのが好きだった。
- (4) 何事にも暗黙のルールがあるのかもしれない。
- (5) 家の事情で転校することになった。
- (6) 人付き合いには寛容さが重要です。
- (7) 欠陥住宅の増加は無視してはならない問題です。
- (8) 双方は、外交ルートを通じて協議することで意見の一致をみた。
- (9) 悪天候のため、通常は三ヶ月で終わる工事が半年もかかった。
- (10) 過ちあってこそ人間というものだ。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

## 2. 次の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (1) 彼はたぐいまれな才能を持っている。
- (2) 好きな人にこくはくするのは、勇気が要る。
- (3) 帰国子女の彼女は、三ヶ国語をあやつることができる。
- (4) あんなげひんな人とは関わりたくない。
- (5) 素直な人は、ないめんが表情に現れやすい。
- (6) 税金が払えなかったので、税務署に家屋・家財をふういんされてしまった。
- (7) 生徒一人ひとりが自分の力を最大限にはつきできる環境を作ることを目指している。
- (8) 不況から脱しつつあるが、今後も株価の動向をちゅういぶかく見守る必要がある。
- (9) 駅前にたくさんの自転車がほうちされて通行人の障害になっている。
- (10) 地球温暖化のせい、今年の夏はいじょうに暑かった。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

## 3. 次の\_\_\_\_\_に入れるのに最もよいものを a～d の中から一つ選びなさい。

- (1) \_\_\_\_\_ のセンスがある人は、発想も豊かで面白い。

a. ユーモア      b. ユニット      c. リラックス      d. ハンマー







- (3) 自分の感情を \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 心身ともに疲れる。  
 a. 押し殺す  
 b. ことは  
 c. ひたすら  
 d. などという
- (4) 日本の古典の教科書に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 平家物語は、仏教的無常観に根ざした作品である。  
 a. 載っている  
 b. いいほど  
 c. 言って  
 d. 必ずと
- (5) 日本の民間調査機関が行った \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ という調査の結果は実に興味深い。  
 a. がまんならない  
 b. ランキング  
 c. 行為の  
 d. 電車での
- (6) 上司に怒りを ★ \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_ 方法を紹介した本を探したい。  
 a. ぶつけたい  
 b. とき  
 c. その気持ちを  
 d. 抑える
- (7) \_\_\_\_\_ ★ 「 \_\_\_\_\_ 」と言われてうれしい。  
 a. 人  
 b. 会う  
 c. 瘦せたね  
 d. ごとに
- (8) 領有権を \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ だろう。  
 a. 続く  
 b. めぐる  
 c. 紛争は  
 d. 延々と
- (9) 好きな人のツイッターを \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ は誰にでもある。  
 a. ことあるごとに  
 b. 気持ち  
 c. わざわざ  
 d. 確認する
- (10) 久しぶりにあの歌を聞いたら、いろいろな \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ しまった。  
 a. こみ上げて  
 b. 思いが  
 c. 泣けて  
 d. きて

## 7. 次の文を読んであとの質問に答えなさい。

- (1) 宮沢賢治の『風の又三郎』に出てくる転校生の高田三郎が「赤い革の半靴をはいていた」ことで、「あいつは外国人だな」と言われてしまうのと、同じまなざしが私を射すくめていたわけです。

質問：下線部「出てくる」が修飾する語を抜き出さなさい。

- (2) また、ときおりやってくる日本からのお客様を迎えたときも、必ずといってもいいほど、私の使う日本語はきれいだとほめられたものでした。

質問：この文の主語を抜き出さない。

- (3) 現代の日本語は「口語体」で、話しことばと書きことばが一致した「言文一致体」である、という教科書に記されたウソに、そのとき身をもって気づかされることになったのです。

質問：下線部「気づかされる」の「～れる」は、どんな働きか。

- (4) 言っていることの半分以上を相手にゆだねるような、微妙な曖昧さの中でことばが交わされている、ということは一つの驚きでした。

質問：下線部の句が直接かかることばを抜き出さない。

- (5) 異文化としての自分の身体を封印した私は、それなりに操ることができるようになった日本語のことばに頼って友人をつくらうとしました。

質問：この文の述語を抜き出さない。

## 8. 次の日本語を中国語に訳しなさい。

- (1) 最初の違和感は、一日目の帰りに感じました。下駄箱から靴を出していると、ジロジロとこちらを見るみんなの視線に気づきました。
- (2) 教室で私が何かを言うたびに、まわりの子が笑いをおし殺しているような雰囲気になり、離れたところでは、あからさまなクスクス笑いが起きていたのです。
- (3) ある日、例のクスクス笑いにがまんならなくなった私は、立ち上がって、みんなにむかって、何がそんなにおかしいのか、という怒りをぶつけました。



- (4) そして、話しことばとしての日本語が、文章語としての日本語とはおよそ異質なことばであることに、毎日毎日気づかされていくことになります。
- (5) 友達の話しことばを観（聴）察するようになった頃、最も奇妙に思えたのは、日本語の話しことばは、決してそれ自体として完結するような、主語と述語がはっきりしたような言い切りの形をとらない、ということでした。
- (6) 日本の中学校での不幸の一つは、ロシア語学校に通い、とりわけ他の社会と比べて濃密なロシア人同士の身体的接触をめぐる生活習慣を内面化してしまっていたところにあります。
- (7) もちろん、数回にわたる、異なった相手からの強い拒絶反応によって、日本人は、そのようなことはしないのだということをいやというほど思い知らされましたが、時すでに遅しで、私のまわりには、「抱きつき魔」、「キス男」といった罵倒のことばが飛び交い、「スケベ」、「エッチ」という当時の私には意味のわからぬことばを投げかけられるようになってしまいました。
- (8) 異文化としての自分の身体を封印した私は、それなりに操ることができるようになった日本語のことばに頼って友人をつくろうとしましたが、ここでも大きな過ちを犯したようです。

9. この小説には「毎日毎日気づかされていくことになります」のような自発表現が多用されているが、このような表現を全部抜き出して、作者の気持ちを推測しなさい。

10. 『ニホン語に会う』の文章をもとに、日本語の話し言葉と書き言葉の特徴と使い分けをまとめなさい。

## 表現力を豊かにしよう

## 四字熟語1

一期一会	一騎当千	一刀両断	五里霧中	千差万別
一部始終	一刻千金	一心同体	五臟六腑	海千山千
一举兩得	一心不乱	二人三脚	七転八倒	万水千山
一举一動	一石二鳥	二束三文	八方美人	半死半生
一攫千金	一朝一夕	三位一体	九牛一毛	半信半疑
一網打尽	一刀両断	三寒四温	十人十色	再三再四
一陽来復	一喜一憂	四苦八苦	百聞一見	
一蓮托生	一長一短	四六時中	千慮一失	
一氣呵成	一進一退	四面楚歌	千變万化	



## 第2課 日本語の「ぼかし」表現

### 単語リスト

ピンポイント エピソード

選択肢 数量 余地 原文 名物料理 時空間 冒頭 本旨

集合 暗示 警戒 動揺 仮定 強調 降伏

厳密 敏感 漠然 表面的 適度 穏当 無意味 否応なく さほど

かみあう 除く あおぐ 聞き返す 含む 言い切る 論ずる 欠ける ゆだねる

### 文法リスト

1. Nに欠ける<不足>

2. -返す<重复; 恢复; 翻转>

1. 次の下線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) いろいろな選択肢があり、かえって迷ってしまいました。
- (2) 原文を見てみないと、作者の心理はなかなか把握できない。
- (3) 『徒然草』の「つれづれなるままに…」という冒頭の文は広く知られている。
- (4) このくすみ饅頭は20年前に地元の名物として商品化された。
- (5) 明日の集合時間と場所に注意してください。
- (6) 輸入する数量を、早急に調べてください。
- (7) 論文の答弁会では、審査委員に質問を聞き返すのは避けましょう。
- (8) 結果の出ない努力は無意味だという人もいる。
- (9) 犬は嗅覚が鋭く、においに敏感に反応する。
- (10) 漠然とテレビを見ていたら、突然ビックニュースが入ってきた。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

2. 次の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (1) この文章から、作者の新しい自分を作り出すあんじを読み取ることができる。
- (2) 一つのミスをのぞいて、このパフォーマンスは完璧だと言えよう。
- (3) 外国語の勉強には、てきどな繰り返しの練習が必要です。
- (4) げんみつに論証してから実施しよう。
- (5) 元カレが結婚したと聞いて、どうようしている。
- (6) わたしもいやおうなく渦中に巻き込まれた。
- (7) この議案にはまだ検討するよちがある。
- (8) 土砂災害の発生をけいかいしなければならない。
- (9) 上記料金はサービス料及び消費税をふくんでおります。
- (10) 国際化の今日、異文化をはいじょしない教育を推進したい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

3. 次の\_\_\_\_\_に入れるのに最もよいものを a～d の中から一つ選びなさい。

- (1) この作品の誕生に関しては、いろいろな\_\_\_\_\_が伝えられている。  
 a. スピード      b. エピソード      c. プライド      d. ガイド





- (2) シミやシワには、\_\_\_\_\_で効果の高い美容液などを使ったほうがより効果的だ。
- a. セールスポイント                      b. ピント  
c. ポイントカード                      d. ピンポイント
- (3) 話がなかなか\_\_\_\_\_から、両社の合併話は棚上げになったままだ。
- a. かみあわない                      b. つきあわない  
c. うちあわせない                      d. みあわせない
- (4) 辛いことを\_\_\_\_\_のは、もう一度そのことを経験するのに等しい。
- a. 考え返す      b. 思い知らず      c. 思い返す      d. 考え込む
- (5) 彼がいくら強い選手だとしても、今度の試合で必ず相手に勝つとは\_\_\_\_\_。
- a. 決めきれない                      b. 張り切れない  
c. 言い切れない                      d. 切りとめない
- (6) 体の不自由な方のために、特別窓口を\_\_\_\_\_。
- a. 設けた      b. 閉めた      c. 行った      d. 知らせた
- (7) 彼は、いつも肝心な点を\_\_\_\_\_言うので、本当に困る。
- a. ゆるして      b. おろして      c. うごかして      d. ぼかして
- (8) 連絡もなしに欠席するなど、社会人として常識に\_\_\_\_\_。
- a. 足りない      b. 欠ける      c. 値しない      d. 欠かす
- (9) 国や地方の実情を考慮に入れて経済の改革を図るのが最も\_\_\_\_\_考え方だ。
- a. 穏便な      b. 平穏な      c. 妥協な      d. 安穏な
- (10) 一人でやれると\_\_\_\_\_ことができるようになるまでには、長い時間の努力が要るに違いない。
- a. 言い終わる      b. 言い換える      c. 言い切る      d. 言い残す

4. 次の下線部の言葉に意味が最も近いものを a ~ d の中から一つ選びなさい。

- (1) 本人は、それほどひどい病気ではないから来週退院してもいいと信じている。
- a. さほど      b. さよう      c. それだけ      d. そう
- (2) この企画は実施する目的が明確であり、妥当である。
- a. 充分      b. 賢明      c. 適切      d. 手頃
- (3) 商品の価値判断をすべて消費者に委ねるのはいかがでしょうか。
- a. 緩む      b. 曲がる      c. 委託する      d. 任せる
- (4) 結婚披露宴の祝辞には、新郎新婦の人柄を表すエピソードを入れるとよい。
- a. 逸話      b. 童話      c. 対話      d. 神話